

一般質問 政友クラブ 久保 忠一

市民会館の建設計画の経緯と今後について

市民会館建設計画は議会による検討委員会もなく時間的に唐突な感がするが、

仮称鴨川市市民会館整備検討委員会で、幅広い方々も参加して頂き、十分時間をかけ基本的な建設計画を策定できないか。

合併時の新市街づくり計画や鴨川市第1次5か年計画でも整備を掲げ、昨年8月の第2次5か年計画策定に係る地区別懇談会において、本格的検討の開始を示しました。そして庁内検討委員会を設置し、基本事項を検討、今年に入り有識者で構成される仮称鴨川市市民会館整備検討委員会を組織し、2回の会議により建設場所、収容人員等の基本的事項をまとめた段階です。更に1月末の第2次5

か年計画の策定に係る団团长会議でも取り組み状況を示し、要望書も頂きました。

今後、委員会の構成や協議の進め方については見直していきます。

本多市政当時は10億円規模とも伺っていたが、現在自主財源も無い中でどのような財政計画を立てているのか。

10億円という発言もありましたが、建設コストが比較的少額であった民間の先進事例のひとつで、全国の公立集会施設ではかなり高額になります。

財源は、合併特例債を活用しますが、活用期間の平成26年度までの竣工が条件となり、合併特例債枠の残りから、仮に800人収容で事業費を26億3千万と想定すれば、17億5千万が交付税措置され、実質交際費比率等の急激な上昇はなく

財政指標上問題ありません。

今後少子高齢化が進み、税金が減り支出増となり、合併特例債を使った鴨川中学校建設なども含め、10年後の財政状況について。

市税徴収率向上、経常経費の削減などに努め、合併特例債など有利な地方債の活用を図ってきた結果、財政指標は徐々に改善しています。

中学校と併せれば償還は一時増になると見込まれるが、償還期間が20年を超えて平準化が図られ、過去の地方債の償還も終了し、今後急激な償還金の増加はないと考えています。

現市民会館周辺は、公園、プールがあり、駐車スペースが不足し、観光的観点からも検討が必要だが、体育センター敷地を含め代案はないのか。また、現行場所とすれ、東口の総合的開発のビジョンがあるのか。

駐車場や公園の確保などの意見も多く頂いており、趣旨に沿うべく努力したいが、現時点での意見集約では現行場所が最適で、今後地域住民の方の意見を踏まえ、東口が鴨川を表玄関であることを視野に総合的開発の検討も行っていきます。

昔コンベンションホール設置の計画があったが、天文台などの学習機能施設など、教育学術に資する部分も考慮に入れないのか。

合併前に太海多目的用地の造成を進めたが、ニーズ減少や県財政悪化で断念しました。学習機能など付帯する機能についても検討していきます。

今後税収減歳出増となり、市民会館自体の付加価値や収益を生むように、中身を検討して頂きたい。地域支えあい体制作り事業について

国からの介護基盤緊急整備等臨時特例基金が増えたが、交付金を利用し事業を進めて行く考えはあるか。

健康福祉推進計画を策定し具体的に取り組み、安房地域推進協議会でも福祉人材確保定着に取り組みしていますが、関係団体とも協議精査したうえで、補助事業も活用していきたい。

既存公民館に当交付金を使い補修し、長期的に新市民会館の機能を合わせ、地域支えあい体制を整えて行く必要があると考えるが。

1施設100万円が補助金の上限で他に制約もあるが、所管部署とも協議の上対応していきます。さらに市民会館の使用目的ともリンクさせながら地域支えあい体制を構築していきます。